

下閉伊郡田野畑村

すげのくぼながやかまえ

菅窪長屋構Ⅱ・Ⅲ遺跡



現地説明会資料

平成26年6月21日(土)10:30～



今回の発掘調査は、三陸沿岸道路建設に伴い、事前に行っている緊急発掘調査です。

ここ菅窪長屋構Ⅱ・Ⅲ遺跡では、縄文時代の竪穴住居跡や土坑、狩猟のための陥し穴などが発見されています。これらから出土した遺物を見てみると、約1万年もの期間にわたる縄文時代の中でも、主に早期・中期・後期のものが多く確認されており、この地に古くから人々が生活していたことが明らかとなりました。現在まで繋がる田野畑村の歴史の一部を垣間見ていただき、先人たちの暮らしや文化に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

菅窪長屋構Ⅱ・Ⅲ遺跡は、標高約250～270mの西から東へ延びる丘陵地上に立地しており、沢を挟んで南側がⅡ遺跡、北側がⅢ遺跡です。

菅窪長屋構Ⅱ遺跡からは、竪穴住居4棟、土坑13基、陥し穴2基、焼土遺構2基が見つかりました。

竪穴住居や土坑から出土した遺物の多くは、縄文時代中期中葉～後葉(今から約4,500～4,000年前)のもので、この時期に集落が形成されていたことがうかがわれます。

このうちの竪穴住居のひとつからは、石を組んで囲んだ炉(石囲炉)が見つかりました。

このほか、文様に貝殻を使用したものや底がとがった形をした縄文時代早期(今から約8,000～6,000年前)の土器も出土しています。この地に古くから人々が暮らしていたことが想像されます。



縄文時代中期の竪穴住居

菅窪長屋構Ⅲ遺跡からは、竪穴住居4棟、土坑8基、陥し穴2基が見つかりました。

出土した遺物の多くは、菅窪長屋構Ⅱ遺跡と同時期の縄文時代中期中葉のものですが、縄文時代後期後葉(今から約3,000年前)の土器も見つかりました。

尾根上の突端の東側から見つかった竪穴住居からは、縄文時代後期の土器や石皿が出土しています。中央には赤く焼けた土が広がる炉が見つかりました。



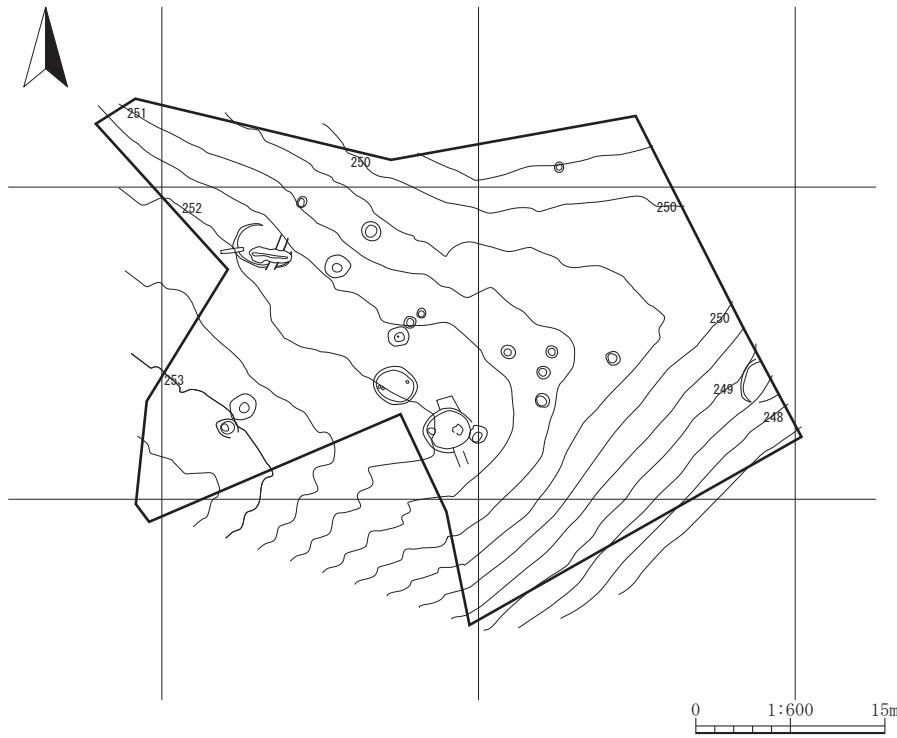
縄文時代後期の竪穴住居

おわりに

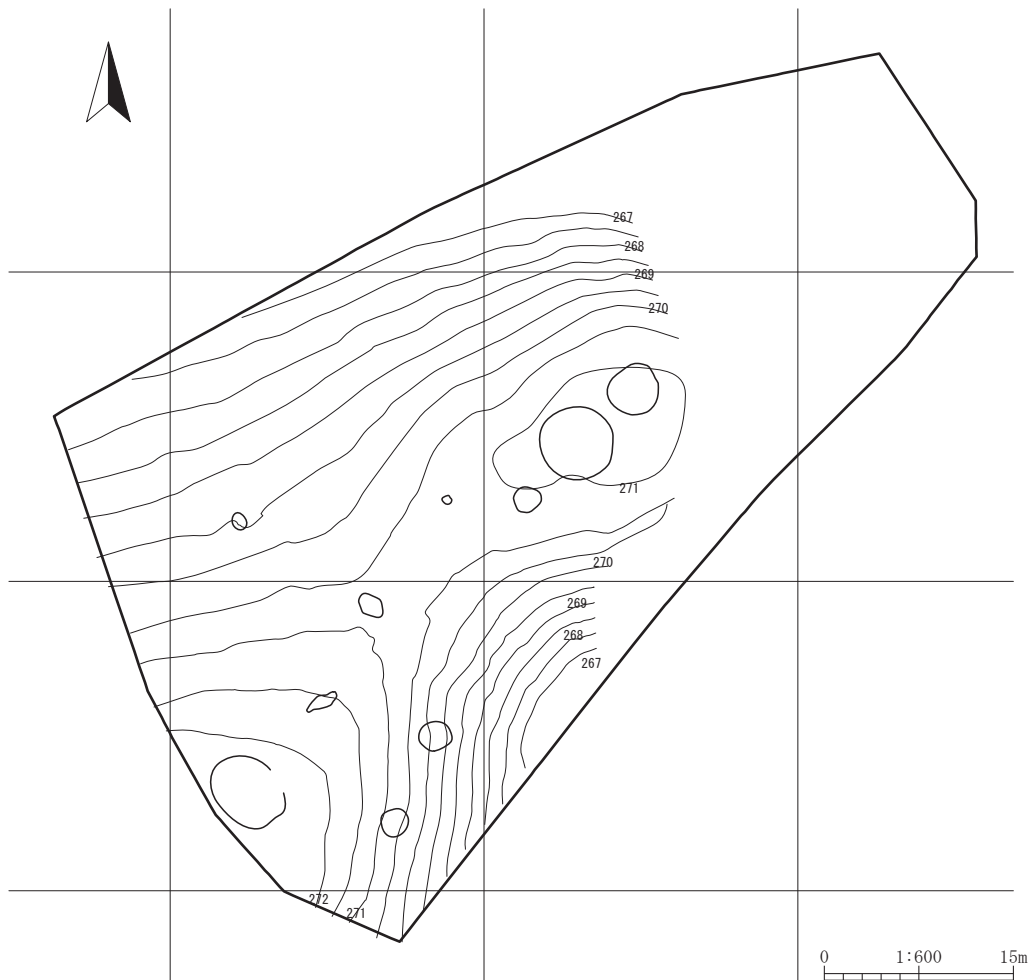
今回の調査で菅窪長屋構Ⅱ・Ⅲ遺跡は、縄文時代中期を主体とした集落跡で、縄文時代早期や後期といった時代の遺構や遺物も見られることから、幅広い時期にこの地に人々が生活していたことがわかりました。

調査も終盤に差し掛かりましたが、これからも当時の人々の暮らしを明らかにできるように調査に励みたいと思います。

最後になりましたが、今回の発掘調査にあたり、ご理解とご協力をいただきました地元住民のみなさま、並びに日々の作業にご尽力いただいております作業員のみなさまに感謝を申し上げます。



菅窪長屋構 遺跡 遺構配置図(6/21現在)



菅窪長屋構 遺跡 遺構配置図(6/21現在)

岩手県の遺跡略年表

年代	時代区分	主な事柄	田野畑村内の主な遺跡	県内の主な遺跡	主な国・県指定遺跡	
BC 10,000年 8,000年 4,000年 3,000年 2,000年 1,000年 300年	旧石器時代	大型動物が生息する		遠野市金取遺跡 奥州市上萩森遺跡 西和賀町大台野遺跡 久慈市早坂平遺跡 岩泉町竜泉新洞遺跡 盛岡市大新町遺跡 軽米町馬場野Ⅱ遺跡 住田町蛇王(蔵王)洞穴遺跡		
	縄文時代	草創期	気候が温暖になる 土器の使用が始まる		二戸市長瀬B遺跡	(県) 大船渡市関谷洞窟
		早期		菅窪長屋構Ⅱ遺跡 姫松Ⅰ・Ⅱ遺跡 和野Ⅰ遺跡	山田町沢田Ⅰ遺跡 普代村力持遺跡	(国) 遠野市綾織新田遺跡
		前期	大規模なムラができる 漆の本格的な使用が始まる	野場Ⅰ遺跡	八幡平市長者屋敷遺跡 盛岡市上八木田Ⅰ遺跡 九戸村田代遺跡	(国) 奥州市大清水上遺跡
	中期		菅窪長屋構Ⅱ・Ⅲ遺跡 浜岩泉Ⅲ遺跡 島越Ⅳ遺跡 (県) 館石野Ⅰ遺跡	紫波町西田遺跡 盛岡市山王山遺跡 住田町里古屋遺跡 一関市清水遺跡 平泉町新山権現社遺跡	(国) 宮古市崎山貝塚 (国) 一戸町御所野遺跡	
	後期		菅窪長屋構Ⅲ遺跡 沼袋遺跡 野場Ⅰ遺跡	軽米町長倉Ⅰ遺跡 盛岡市川目A遺跡 大船渡市上鷹生遺跡 八幡平市曲田Ⅰ遺跡 北上市大橋遺跡	(国) 北上市八天遺跡	
	晚期	亀ヶ岡文化が広がる		大船渡市上甲子遺跡 一関市谷起島遺跡	(国) 大船渡市大洞貝塚	
	弥生時代	稲作が始まる 金属器が使用される 卑弥呼が邪馬台国王となる	沼袋遺跡 浜岩泉Ⅲ遺跡	大船渡市上甲子遺跡 一関市谷起島遺跡 滝沢村湯舟沢遺跡		
	AD 300年 400年 600年 800年 1,000年 1,200年 1,400年 1,600年 1,800年	古墳時代	大和朝廷が国家統一を進める 古墳が各地につくられる		奥州市高山遺跡	
			仏教が伝わる 聖徳太子が摂政となる 大化の改新がおこる		奥州市中半入遺跡 北上市猫谷地遺跡 奥州市膳性遺跡 花巻市熊堂古墳 宮古市長根Ⅰ遺跡 山田町房の沢Ⅳ遺跡 奥州市杉の堂遺跡	(国) 奥州市角塚古墳 (県) 矢巾町藤沢蝦夷森古墳 (国) 北上市江釣子古墳群 (県) 岩手町浮島古墳群
古		奈良時代	奈良に都がつくられる	千足南遺跡	盛岡市台太郎遺跡 軽米町包角子久保Ⅳ遺跡	(県) 岩手町仙波堤遺跡
		平安時代	京都に都がつくられる 胆沢城や志波城がつくられる 各地に荘園が広がる	和野Ⅰ遺跡	宮古市島田Ⅱ遺跡 二戸市飛鳥台地Ⅰ遺跡 一関市河崎の柵擬定地	(国) 奥州市胆沢城跡 (国) 盛岡市志波城跡 (国) 矢巾町徳丹城跡
中		鎌倉時代	前九年合戦がおこる 後三年合戦がおこる	浜岩泉Ⅲ遺跡	奥州市接待館遺跡 奥州市衣の関道遺跡 平泉町柳之御所遺跡	(国) 柳之御所・平泉遺跡群 (国) 一関市骨寺村荘園遺跡
		室町時代	平泉藤原氏の滅亡 鎌倉幕府の成立		盛岡市繫Ⅲ遺跡	
世		戦国時代	元寇がおこる 室町幕府の成立		花巻市笹間館跡 一戸町一戸城跡 紫波町柳田館跡 久慈市久慈城跡 遠野市篠館跡 宮古市山口館跡 奥州市北館跡	(国) 二戸市九戸城跡 (国) 盛岡市盛岡城跡 (国) 北上市・金ヶ崎町南部領伊達領境塚
		安土桃山時代	応仁の乱がおこる 豊臣秀吉が全国統一する 関ヶ原の戦いがおこる			
近世		江戸時代	江戸幕府の成立 鎖国が始まる		奥州市北館跡	
		明治	大政奉還が行われる 明治維新	尾肝要Ⅰ遺跡	紫波町栗田Ⅲ遺跡 遠野市佐比内鉄鉦山跡 住田町子飼Ⅱ遺跡	(国) 釜石市橋野高炉跡 (県) 釜石市栗林銭座跡 (国) 奥州市高野長英旧宅

〔調査要項〕

所在地：下閉伊郡田野畑村菅窪地内 委託者：三陸国道事務所 調査原因：三陸沿岸道路建設
 調査期間：平成26年4月9日～6月30日(予定) 調査対象面積：Ⅱ-1,200㎡、Ⅲ-2,900㎡
 調査機関：(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
 担当者：小林 弘卓・藤本 玲子・宇部 めぐみ 協力機関：田野畑村教育委員会